

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32405	簿記応用演習 Bookkeeping application exercise	二村 建也	実務経験のある教員による授業科目である		1	選択	1.2後期
科目の概要							
簿記は株式会社などの企業、小規模な店舗、官公庁といった各種組織・機関で行われている幅広い事業活動をお金の面で記録する技術であり、また財務諸表（決算書）を作る基盤でもあります。ビジネスの多様化が進む現代で自立したライフスタイルをデザインするために専門的知識を修得することはディプロマ・ポリシーの③に相当し、その知識・技能の一例として決算を含んだ簿記の基礎を修得する。★中小企業診断士として企業の財務会計についてコンサルティングをしてきた経験を活かし、簿記の基礎を解説する。							
学修内容				到達目標			
① 簿記の目的を決算と関連づけて理解する。 ② 決算に関連する仕訳の意味と仕訳の方法を理解する。 ③ 決算に関連する仕訳を帳簿に記録する方法を理解する。 ④ 決算に関連する試算表・精算表の意味を理解し、作成方法を修得する。				① 簿記の目的を決算と関連づけて理解できる。ディプロマ・ポリシーの③に相当する。 ② 決算に関連する仕訳の意味と仕訳の方法を理解できる。ディプロマ・ポリシーの③に相当する。 ③ 決算に関連する仕訳を帳簿に記録できる。ディプロマ・ポリシーの③に相当する。 ④ 決算に関連する試算表・精算表の意味を理解し、作成できる。ディプロマ・ポリシーの③に相当する。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	ア．簿記を使うために必要な知識について、教科書を使って自己学修することができる。 イ．課題を通じて自ら練習する態度を身に付けることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	ア．仕訳を行うために必要な思考を、反復練習により身に付けることができる。 イ．目標を設定し、最後までやり遂げることができる。					
考え抜く力	課題発見力	簿記のルールに基づいて、企業や店舗などで日常的に行われる仕訳、記帳、会計管理を事業運営と関連づけて課題を発見し、解決方法を提案することができる。決算によって貸借対照表と損益計算書を作成し、財政状態や経営成績の課題を発見し、解決方法を提案することができる。					
	計画力						
	創造力	ア．簿記という手段により、一つの事柄を多面的に捉えることを学び、固定概念にとらわれない情報理解のきっかけを手に入れることができる。 イ．社会に出たときに職場の課題を数値情報として把握し、解決するための視点を獲得することができる。					
チームで働く力	発信力	課題に取り組むうえで、自分の考えを相手に説明できる機会が期待でき、聞き手に伝わりやすいように工夫して発表することができる。					
	傾聴力	課題に取り組むうえで、他人の意見を確認して、その内容を自分の学びに活かすことができる。それを踏まえた自分の意見も述べることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：『よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記3級 ver. 15. 0』、TAC簿記検定講座、TAC出版（2025年）、定価：2,200円（税込） 参考文献（問題集）：『よくわかる簿記シリーズ 合格トレーニング 日商簿記3級 ver. 15. 0』、TAC簿記検定講座、TAC出版（2025年）、定価：1,650円（税込）							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：簿記基礎演習 資格との関連：簿記検定（日商簿記初級・3級）							
学修上の助言				受講生とのルール			
簿記は知識を一つひとつ積み上げていくことで理解できる科目です。毎回の授業では新しい用語を学び、その内容を次回以降の授業で使います。例題や練習問題を実際に手を動かして解くことが効果的です。				毎回の授業にさいして予習・復習をしてください。授業には集中して参加してください。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	40	①	✓			3回の小テストを行う（第6回・第8回・第15回）。配点は順に12点、12点、16点。①各小テストの前の回までに学んだ内容を正しく理解できているか確認する。②テキストの例題や確認問題を一部アレンジした問題を小テストで出題する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		レポート	50	①	✓			課題レポートを3回提出してもらう。配点は順に15点、15点、20点。テキストや授業で取り扱った内容をもとに独自の問題を作り、その解答と解説をセットにして提出してもらう。次の技能レベルをもって合格の基準とする。決算に関する仕訳を網羅的に組み合わせた問題を作成でき、その仕訳、試算表、精算表を関連づけて解答・解説を記述できる。……S 決算に関する仕訳を組み合わせた問題を作成でき、その仕訳を関連づけて解答・解説を記述できる。……A 決算に関する仕訳の問題を作成でき、解答・解説を記述できる。……B 決算に関する仕訳の問題を作成できる。……C Cのレベルに達していない。……F
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
				②				
				③				
				④				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） テキスト・資料以外の問題に自主的に取り組むことができる。 （課題発見能力） 応用問題に対して全体的に的確なポイントの整理ができる。 （実行力） 予習復習を確実に行い、新たな問題に取り組むことができる。 （創造力） 実社会での必要性をイメージできる。 （発信力） 課題のポイントを相互に説明できる。 （傾聴力） 授業内容を十分に把握できわからない点を整理できる。 （規律性） 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S：決算整理に関する仕訳ができ、総勘定元帳への転記や決算整理前・後残高試算表の作成を正しく行ったうえで、精算表を通して財務諸表を作成できる。日商簿記検定3級の試験問題を正しく解け、正しい解説ができる。 A：決算整理に関する仕訳ができ、総勘定元帳への転記や決算整理前・後残高試算表の作成を正しく行える。日商簿記検定3級の試験問題を正しく解ける。	B：決算整理に関する仕訳ができ、5つのグループと各勘定科目の増加・減少・発生・消滅と関連づけて解説できる。 C：決算整理に関する基本的な仕訳ができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	ガイダンス 簿記応用演習の効果的な学び方を理解する 決算の意味と仕組みを学ぶ	講義 練習問題とその解説	簿記における決算の意味や仕組みを理解する。次回以降で学ぶ決算整理や財務諸表の作成の概略を理解する	(予習) テキストのテーマ16を読んでおくこと (なおシラバス作成時点で最新版のテキストが未発行であるため、テーマの番号が変更される可能性がある。そのさいは第1回授業で説明する) (復習) 授業で学んだ用語の意味を理解・暗記したうえで、決算の全体像・流れを整理・理解すること	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
2	現金過不足を学ぶ	講義 練習問題とその解説	現金過不足と決算整理におけるその意味を理解する	(予習) テキストのテーマ17を読んでおくこと (復習) 決算整理事項の1つである現金過不足がどういったことで、決算整理でどういう仕訳をするのか、勘定科目の意味とあわせて整理・理解すること	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	売上原価を学ぶ	講義 練習問題とその解説	売上原価を算出する方法とその意味を理解する	(予習) テキストのテーマ18を読んでおくこと (復習) 売上原価を算出する方法を、決算整理でどういう仕訳をするのか、勘定科目の意味とあわせて整理・理解すること	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	貸倒れを学ぶ	講義 練習問題とその解説	貸倒れに関する仕訳と決算整理における意味を理解する	(予習) テキストのテーマ19を読んでおくこと (復習) 貸倒れの見積もりや引当に関する仕訳を、決算整理のなかでの位置付け、勘定科目の意味とあわせて整理・理解すること	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
5	減価償却を学ぶ	講義 練習問題とその解説	減価償却の仕組みとそれに関する仕訳、決算整理における意味を理解する	(予習) テキストのテーマ20を読んでおくこと (復習) 減価償却の仕組みや会計上の位置付けや、減価償却に関する仕訳、決算整理における意味を整理・理解する	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
6	貯蔵品と当座借越を学ぶ	【小テスト1】 講義 練習問題とその解説	貯蔵品と当座借越に関する仕訳、決算整理における意味を理解する	(予習) テキストのテーマ21・22を読んでおくこと (復習) 決算整理において貯蔵品や当座借越といった勘定科目を用いる仕訳が必要な理由を整理・理解する	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7	経過勘定項目を学ぶ	講義 練習問題とその解説	4つの経過勘定項目に関する勘定科目と仕訳、決算整理における経過勘定の意味を理解する	(予習) テキストのテーマ23を読んでおくこと (復習) 4つの経過勘定項目を時間軸と決算、5つのグループ、仕訳と関連づけて整理・理解する	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
8	決算整理後残高試算表を学ぶ	【小テスト2】 講義 練習問題とその解説	決算整理前残高試算表、決算整理事項の仕訳、決算整理後残高試算表の関係を理解する	(予習) テキストのテーマ24を読んでおくこと (復習) 決算整理前残高試算表に7つの決算整理事項を反映させ決算整理後残高試算表を作成の関係を整理・理解すること	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	精算表を学ぶ	講義 練習問題とその解説	決算整理前残高試算表と損益計算書・貸借対照表の関係性を理解する	(予習) テキストのテーマ25を読んでくること (復習) 8桁精算表における(決算整理前)残高試算表欄、修正記入欄、損益計算書、貸借対照表をそれぞれの借方・貸方とあわせて整理・理解する	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
10	帳簿の締め切り(英米式決算)を学ぶ	講義 練習問題とその解説	精算表の完成後に帳簿を締め切る手順を理解する	(予習) テキストのテーマ26を読んでくること (復習) 決算整理の流れのなかで、帳簿を締め切ることの位置付けを整理・理解する	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
11	損益計算書と貸借対照表を学ぶ	講義 練習問題とその解説	決算整理によって作成できる損益計算書と貸借対照表の構成や意味を理解する	(予習) テキストのテーマ27を読んでくること (復習) 決算によって損益計算書と貸借対照表がどう作成されるか整理・理解する	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
12	7つの決算整理事項の仕訳から損益計算書・貸借対照表の作成までの流れの理解を定着させる	オンデマンド講義 練習問題とその解説	7つの決算整理事項、決算整理前残高試算表、決算整理後残高試算表、損益計算書、貸借対照表の関連を簿記一巡の流れのなかで復習し、理解を定着させる	(予習) テキストのテーマ16～27を再度、よく読んでくること。前週までの配布資料を再度、よく読んでくること (復習) 決算の一連の流れを各ステップの意味や位置付けを整理・理解し、8桁精算表を完成させる方法を理解する	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
13	株式の発行を学ぶ	講義 練習問題とその解説	株式の発行に関する勘定科目や仕訳を理解する	(予習) テキストのテーマ28をよく読んでくること (復習) 純資産の部(資本の部)に関連する手続き、勘定科目、仕訳を整理・理解する	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
14	剰余金の配当と処分を学ぶ	講義 練習問題とその解説	決算において当期純利益を計上した場合に利益をどう配当・処分をするか、それに関する勘定科目や仕訳を理解する	(予習) テキストのテーマ29を読んでくること (復習) 当期純利益または当期純損失および配当と処分に関する勘定科目と仕訳を整理・理解すること	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
15	税金を学ぶ	【小テスト3】 講義 練習問題とその解説	各種税金の支払いに関する勘定科目・仕訳を整理・理解する	(予習) テキストのテーマ30を読んでくること (復習) 主な税金の種類とその支払いなどに関する勘定科目・仕訳を整理・理解する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力